

## 合田大使の UNICEF 供与式典出席

5月22日、合田大使はチュイ州アラムドゥン地区のストレルニコヴァ名称中等学校を訪問し、令和元年度対キルギス無償資金協力「気候及び災害リスクに対する児童の強靭性向上計画」（UNICEF 連携）によって供与された防火設備の供与式典に出席しました。

本プロジェクトは、学校での避難訓練の実施、防火設備の供与、防災マニュアルの配布等の活動を通じて、学校及び地元コミュニティの防災能力を向上し、生徒がより安全に学ぶことができる環境を確保するものです。本プロジェクトは、全国1,800校の約90万人の児童と1万人の教師をカバーしています。

今回の防火設備（メガホン、サイレン、消火器、ストレッチャー、救急箱、災害情報ボード及び非常用ドアのハンドル）の供与は、1,800校の中でも特に防火設備が不十分な600校を対象として行ったものです。

以下に合田大使の挨拶を抜粋します：

「…教育とは人々の発展の礎であり、国民経済及び社会の発展の礎です。…本日、日本政府より供与された機材によって、生徒らは学校で心配なく学ぶことができます。…生徒らがよく学び、キルギスの将来の発展に寄与することを願っています。」

